

システム MTU の設定

- 機能情報の確認、1 ページ
- MTU に関する情報、1 ページ
- MTU の設定方法、2 ページ
- システム MTU の設定例, 3 ページ
- システム MTU に関する追加情報、4 ページ
- システム MTU の機能情報、5 ページ

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。 最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェアリリースの Bug Search Tool およびリリース ノートを参照してください。 このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。 Cisco Feature Navigator には、http://www.cisco.com/go/cfn からアクセスします。 Cisco.com のアカウントは必要ありません。

MTUに関する情報

すべてのswitch インターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト MTU サイズは、1500 バイトです。 すべてのギガビット イーサネット インターフェイスおよび 10 ギガビット イーサネット インターフェイスではスイッチド ジャンボ フレームをサポートし、すべてのルーテッド ポートではルーテッド フレームをサポートするように MTU サイズを変更できます。

OL-29420-01-J

システム MTU の制約事項

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

- switchはインターフェイス単位では MTU をサポートしていません。
- system mtubytes グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力すると、switchでコマン ドが有効になりません。 このコマンドが有効になるのは、ファスト イーサネット ポートに おけるシステム MTU サイズに対してだけです。

MTU の設定方法

システム MTU の設定

スイッチド パケットおよびルーテッド パケットの MTU サイズを変更するには、特権 EXEC モー ドで次の手順を実行します。

手順の概要

- 1. configure terminal
- 2. system mtubytes
- 3. system mtujumbobytes
- 4. system mtu routingbytes
- 6. copyrunning-config startup-config
- 7. reload
- 8. show system mtu

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例: SwitchDevice# configure terminal	
ステップ2	system mtubytes	(任意) スイッチのすべてのファスト イーサネット インターフェイスに対して MTU サイズを変更します。
	例: SwitchDevice(config)# system mtu 2500	指定できる範囲は、1500 ~ 1998 バイトです。デフォルトは 1500 バイトです。

[■] Catalyst 2960-XR スイッチ インターフェイスおよびハードウェア コンポーネント コンフィギュレー vョンガイド、Cisco IOS Release 15.0(2)EX1

		D46
	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	<pre>system mtujumbobytes 例: SwitchDevice(config)# system mtu jumbo 7500</pre>	(任意) スイッチまたはスイッチスタックのすべてのギガビット イーサネット インターフェイスおよび 10 ギガビット イーサネット インターフェイスに対して MTU サイズを変更します。
		指定できる範囲は、1500 ~ 9198 バイトです。デフォルトは 1500 バイトです。
ステップ 4	system mtu routingbytes 例: SwitchDevice(config)# system mtu routing 2000	(任意) ルーテッド ポートのシステム MTU を変更します。 また、設定した MTU サイズをサポートするルーティング プロトコルがアドバタイズする最大 MTU も設定できます。 システム ルーティング MTU は、ルーテッド パケットの最大 MTU であり、また OSPF などのプロトコルのルーティングアップデートでスイッチがアドバタイズする最大 MTU でもあります。
		(注) このコマンドは、LAN ベース フィーチャ セットを 実行しているスイッチではサポートされません。
ステップ5	end	特権 EXEC モードに戻ります。
	例: SwitchDevice(config)# end	
ステップ6	copyrunning-config startup-config	コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。
	例: SwitchDevice# copy running-config startup-config	
ステップ 7	reload	オペレーティング システムをリロードします。
	例: SwitchDevice# reload	
ステップ8	show system mtu	設定を確認します。
	例: SwitchDevice# show system mtu	

システム MTU の設定例

次に、ギガビット イーサネット ポートの最大パケット サイズを 7500 バイトに設定する例を示します。

SwitchDevice(config)# system mtu 1900 SwitchDevice(config)# system mtu jumbo 7500 SwitchDevice(config)# exit 特定のインターフェイス タイプで許容範囲外の値を入力した場合、その値は受け入れられません。 次に、ギガビット イーサネット インターフェイスを範囲外の値に設定しようとした場合に表示される応答の例を示します。

SwitchDevice(config) # system mtu jumbo 25000

% Invalid input detected at '^' marker.

次の例では、show system mtu コマンドの出力を示します。

SwitchDevice# show system mtu Global Ethernet MTU is 1500 bytes.

システム MTU に関する追加情報

エラー メッセージ デコーダ

説明	リンク
このリリースのシステム エラー メッセージを 調査し解決するために、エラー メッセージ デコーダ ツールを使用します。	https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Errordecoder/index.cgi

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。http://www.cisco.com/go/mibs

0L-29420-01-J

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポート Web サイトでは、シスコの 製品やテクノロジーに関するトラブルシュー ティングにお役立ていただけるように、マニュ アルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。	http://www.cisco.com/support
お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を 入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。	
シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。	

システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS 15.0(2)EX1	この機能が導入されました。

システム MTU の機能情報